

第17回 地域伝統芸能まつり

テーマ 妖あやかし
惑わされ、引き込まれ、狂わされ。

会場 NHKホール
(東京都渋谷区)

入場無料
応募抽選により

「地域伝統芸能まつり」は、日本各地の人々により、脈々と受け継がれてきた祭事や芸能を保存、伝承し、併せて地域の活性化をはかる取り組みです。伝統ある祭事や古典芸能が一堂に会し、個性を競い合う新たな「祭」が、日本文化の素晴らしさを再発見し、郷土を慈しむ契機となることを願っています。

17回目となる今回のテーマは「妖」。目には明かに見えずとも、私たちの身の回りに存在するあやしいものたちは、昔から祭や芸能のテーマとなってきました。今回も、全国各地から選出された多彩な演目をお楽しみいただき、その歴史や地域性的一端にも触れていただきたいと思います。

地域伝統芸能まつり実行委員会
会長

山折哲雄



2月26日(日) 午後2時30分 開演

1 エイサー

沖繩県・うるま市

エイサーは、本土の盆踊りにあたる沖繩の伝統芸能のひとつ。伝を広めるために発生した念仏踊りが、しだいに姿を変えていったものであり、各地域それぞれに独自の衣装・踊り・掛け声など特色を持つ伝統が受け継がれています。本島中部に位置するうるま市は「伝統エイサーの郷」と言われ、格式のあるエイサーが残っており、その特徴の一つとして「パーランクー」という片張りの太鼓を用いるエイサーがあります。今回の出演は、復帰前のエイサーコンクールで優勝、また本土に初めてエイサーを紹介した「赤野青年会」の皆さん。演者同士が踊りながら交差し、さまざまな形へと大胆に変化する演舞体系、また、赤や緑、黄色、青など鮮やかな色を取り入れた衣装、男性の太太鼓とパーランクーによる力強い踊り、女性によるしとやかな手踊りなど見所満載です。

2 御坊祭の「獅子舞」、「四つ太鼓」

和歌山県・御坊市

御坊祭は、御坊市中心部にある小竹(しの)八幡神社の祭りで、毎年10月4日(宵宮)・5日(本祭)に行われます。和歌山県中部の日高地方最大の祭りで、昔から「人を見たけりや御坊祭」と謳われたほど大勢の見物客を集め続けています。祭りの起源は定かではありませんが、中世の古祭礼が中断したあと、寛永19年(1642年)に「すぐさま祭を行え」との神のお告げがあり再興したという言い伝えがあります。現在は、10の氏子組のうち9つの組が獅子舞、奴踊、戯瓢(げんぺう)踊、雀踊などの芸能を奉納しています。また、四つ太鼓と呼ばれる歌舞伎風の化粧を施した男児を乗せた太鼓台が伊勢音頭に合わせて威勢よく道中を練り歩き、10メートル以上の長さのある大輪が力自慢の男性によって見事に差し上げられます。今回は、神賑行事としての「獅子舞」、そして余興道具の「四つ太鼓」をご紹介します。出演は小竹八幡神社氏子組「上組」(かみぐみ)の皆さん。

3 浦浜念仏剣舞

岩手県・大船渡市

岩手県の沿岸南部、大船渡市三陸町越喜来(おっきらい)の浦浜地区に伝えられている念仏剣舞。江戸時代中期またはその後には始まったものと推測されています。胴取り(太鼓)が歌う念仏と韻にのせ、さらさらが香炉を高く持ち上げ庭をめぐり、踊り手一人ひとりに焼香させる作法、中踊りでの踞蹠、踏み込みの力強さ、後半の剣をふりかざし阿修羅の如く激しい戦いを演ずる豪放磊落な雰囲気が浦浜剣舞の特長です。疫病、凶作、戦争、津波等で幾度も中断を繰り返しながらも、昭和47年に浦浜青年会が復活させ、保存会を結成、今日に至っています。先の東日本大震災では拠点施設としての詰所が全壊。そこに保管していたほとんどの道具を流失。一時は中断やむなし、としたものの、念仏剣舞は「供養」の意味合いが強く、「こういときだからこそ舞わねば」という思いから、装束や道具が十分でない中、平成23年6月18日、百か日の供養のため地域を回り活動を再開しました。岩手県指定無形民俗文化財。

4 ひろしま安芸高田神楽

広島県・安芸高田市

安芸高田市の神楽は、出雲流神楽が石見神楽を経て、江戸期にこの地域に伝えられたと考えられています。また、その過程で、九州の八幡系の神楽や高千穂神楽・備中神楽、さらに中国山地一帯に古くから伝わる農民信仰などの影響を受けて、現在の形態になったといわれています。その特徴は演劇性が強いという点で、極めて大衆的で、のびのびした伝統芸能に発展しました。現在では市内に22の神楽団が神楽を舞い、舞人たちはその技を磨き、神楽の継承と保存に大きな役割を担っています。今回は「桑田天神楽団」による出演で「滝夜叉姫」を演じます。舞や奏楽に古い様式である「石見六調子」を残しており、昭和29年には、神祇舞の「神降し」が広島県無形民俗文化財として、いち早く指定されるなど歴史ある神楽団です。

5 狂言「梟山伏」

出演:野村又三郎 ほか

山から帰ってきた息子の様子がおかしい。心配になった父親は山伏に祈禱を頼みにいきます。山伏は早速ふたりの家に行き、正体を無くした息子の具合を見ます。脈を取ると、もつてのほかの邪気です。さて、呪文を唱えて祈り始めると病人は奇妙な動きをし、そして奇妙な鳴き声を発します。父親の説明によると、息子は山へ行つた時に、鼻の鼻を下ろしたらしい…。これは鼻が取り憑いたものに違いないと、山伏は重ねて数珠を押し揉んで祈ります。ところが、一向に効果はなく、ついには親にまで鼻が憑き、ふたりは盛んに鳴き声を発します。さて、どうすることも出来なくなった山伏は…。強そうなのに何故か無力な山伏と「ホホーン」という鼻の鳴き声が笑いを誘う童話的な作品です。しかし、ものが人間に憑くという恐怖を思わせて背筋が寒くなる異色の狂言でもあるのです。

6 西馬音内盆踊り

秋田県・羽後町

西馬音内盆踊りは、日本三大盆踊りの一つに数えられる秋田県羽後町伝統の盆踊り。毎年8月16日から18日の三日間、西馬音内本町通りにおいて行われ、人口約一万六千人の小さな町に、三日間で約10万人の観光客が訪れます。素朴で野趣あふれた囃子とは対照的に、流れるように優美で緩やかな動きの踊りが特徴です。その由来は、今から七百年余りに源信という修行僧によってもたらされた豊年祈願の踊りが、慶長6年西馬音内城主小野寺一族が滅び、遺臣や領民たちが主君を偲んで捧げた供養の踊りと合流・融合し今の姿になったと伝えられています。踊りは、「音頭」と「がんげ」の二種類で交互に踊られます。かがり火に映える美しい踊り衣装、目深く被る編み笠や彦三頭巾で顔を覆い、踊る者の顔をあらわにしないこの独特の風体は幻想的で非現実的な妖しい雰囲気や漂わせ、没我の境地にある踊りの群れは人々を幽玄の世界へと誘います。国指定重要無形文化財。

7 東方組太鼓踊り

熊本県・湯前町

東方組太鼓踊りは、球磨地方に数多く残る「臼太鼓踊り」のひとつです。壇ノ浦で破れた平氏が球磨の地に落ち延びた後、子孫が昔日をしのんで踊り始めたとも、また、相良氏が平時の武道鍛錬、士気鼓舞を目的にはじめたものが、豊年踊りの十五夜踊りと結び付いて風流化したものとも伝えられています。かつては、干ばつ時の雨乞いにも踊られ、西南戦争では、焼き打ちの災難を逃れ、夜もすがら踊り折ったという話が残っています。宮崎県側に多くみられる「背負いもの」を付ける臼太鼓と違い、兜をかぶるのも特徴的といえます。東方組太鼓踊りは、「日本遺産」構成文化財の一つであり、人吉球磨に伝わる臼太鼓踊りの中でも勇壮な踊りとして知られます。太鼓の胴には「宝永」、「安政」の銘があり、その歴史を物語っています。湯前町指定無形民俗文化財。

8 つきじ獅子祭

東京都・中央区

波除荷荷神社の夏越し大祭「つきじ獅子祭」の始まりは、江戸時代に遡ります。当時定められた埋め立てで、築地は堤防を築いては流される最大の難所でした。そんな折、海面に現れたご神体をお祭りしたところ波風が止み、人々は御神徳のあらたかさに驚き、雲を従える「龍」、風を従える「虎」、一声で万物を威伏させる「獅子」の巨大な頭を担いで奉納したのが「つきじ獅子祭」の始まりと言われています。神社の巨大な獅子頭は江戸時代に、また築地に数多くあった獅子頭は関東大震災で修理に出していた一對の獅子頭を残すすべて焼失してしまったものの、後の昭和2年に現在の宮神輿が完成し、長らく獅子祭の名前が残る神輿の祭りが続きます。そして、平成2年には、高さ2.4メートル、幅3.3メートル、重さ1トンにおよぶ黒檜一木造りの雄の「天井大獅子」が、平成14年には、高さ2.15メートル、幅2.5メートル、重さ700キログラムの木彫りの雌の大獅子「お歯黒獅子」が改めて再興されました。江戸時代以来の大獅子を担ぐ伝統に、新しさを兼ね備えた江戸随一のお祭りです。

※演目は変更の場合もあります。ご了承ください。

■お問い合わせ ハローダイヤル 03-5777-8600 全日/8:00~22:00

インターネット、携帯電話でもお申し込みできます ■インターネット <http://www.jafra.or.jp/matsuri/> ■携帯電話からのアクセスはこちら▼

■ はがきでのお申し込み/往復はがきに ①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年代 ⑤性別 ⑥電話番号 ⑦入場希望者数(1枚につき2名まで)を明記のうえ、下記事務局までお送りください。未就学児も1名といたします。

返信はがきには自分宛の住所・氏名を記入してください。 ■ 応募先/〒150-0047 東京都渋谷区神山町5-5 NRビル5F 地域伝統芸能まつり観覧応募事務局

■ 応募締切/平成29年1月28日(土)必着 応募多数の場合は抽選とさせていただきます。発表は本人に直接通知いたします。



※ご応募いただいたお客様の個人情報は、本フェスティバルの抽選、当落選告知および個人を特定しない統計資料の作成の目的で使用させていただきます。また、お客様の事前の承諾なく個人情報を業務委託先以外の第三者に開示・漏洩いたしません。

主催:地域伝統芸能まつり実行委員会、一般財団法人 地域創造 後援:総務省、文化庁、観光庁、NHK 協力:日通旅行